

5 プロジェクトの展開

大塚上における取組メニューの中から、先導性や特色、必要性の高さなどを考慮し、主要な取組を取り上げ、共有するテーマで組み合わせることによってプロジェクトを構成します。
そのことは、計画のめざす方向性と特色をわかりやすく、明快に示すことになります。
また、個々それぞれに取り組むことに比べ、限られた人材や資金を有効に活用することになるとともに、効果の範囲を広げたり、住民参加の意欲や選択度を高めたりすることにつながります。

(1) プロジェクトの設定とイメージ



※スローフード 効率やスピードを重視した食や、それからくる生活への反省及び「ファーストフード」への対立概念・活動としてイタリアでスタートした取組。日本でも、各地で郷土食や地域の食材の重視、地産地消、日本酒の再評価など、スローフードにかかわる取り組みがなされている。

※グリーン・ツーリズム 農山漁村地域において休暇を過ごすことによって、自然、文化、人々との交流を楽しむ旅のこと。

※アーツ・アンド・クラフツ アーツとは芸術・技術、クラフツとは工芸・技能といった意味です。芸術と工芸の融合によって、工芸品などの付加価値を高めるとともに、ものの作り手と品物と、それを使う人々との間に親密な関係が生まれることも期待できます。